

<オーバーユース対策>
環境配慮型山岳公衆トイレの整備



塔ノ岳公衆トイレ

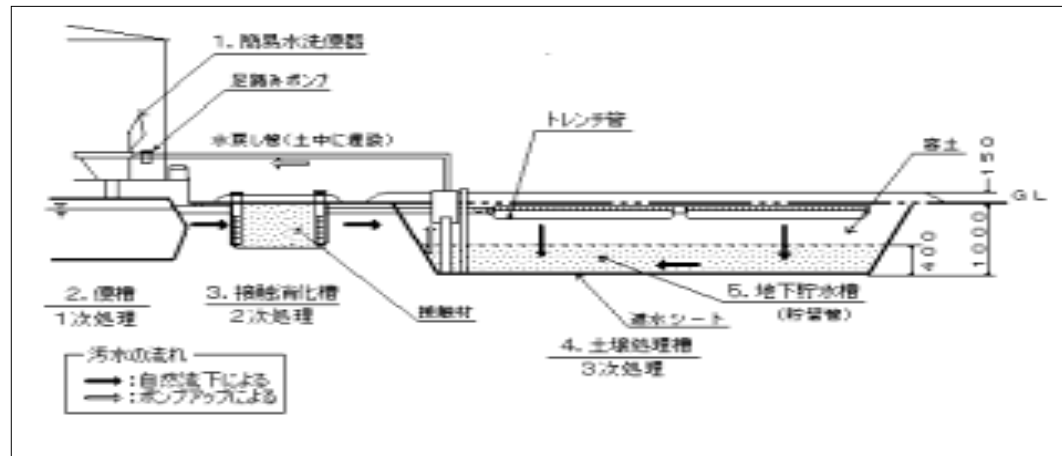


檜洞丸公衆トイレ

登山者のし尿対策と利便性の向上を目的として、平成14年4月に塔ノ岳山頂、平成15年4月に檜洞丸山頂付近に環境配慮型の山岳公衆トイレを設置しました。

これらのトイレは「土壌処理循環方式」を採用しています。これは土壌中の微生物の働きによりし尿を周辺の土壌に排出することなく分解浄化する環境に配慮したシステムで電気や上下水道を必要としない処理方式です。

トイレの利用にあたっては、分解の妨げになりますので使用済みペーパーの持ち帰りをお願いします。また、これらのトイレがいつまでも快適に利用できるようにチップ(1回当たり50円)を併せてお願いします。
 なお、同形式のトイレが平成15年12月に鍋割山山頂付近に完成しました。



土壌処理循環方式システム図